

ときわの風

発行：常磐大学同窓会
編集：常磐大学同窓会事務局
水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）
電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

2011年度

常磐大学同窓会事業計画および予算書について

はじめに、このたびの東日本大震災により災害に遭われた方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。母校の常磐大学においては、幸い負傷者はありませんでしたが、教室棟の一部が損傷を受けたため、構内の安全点検により入学式を1ヶ月遅らせて2011年度春 semester を迎えました。

大震災から4ヶ月以上が過ぎました。談話を次の理由として中止する。

1. 2011年度同窓会総会および懇談会を次の理由として中止する。

2. 総会費用として計上されていた予算の一部を、東日本大震災義援金として寄付する。

①余震の可能性や原発事故の不安を考えたとき、参加者の安全を第一に考える必要があるため。

②茨城県を含め被災地が広範囲にわたり、同窓生にも被災されている方がいることが考えられ、その心情を考慮する必要があるため。

また、総会の中止に伴い、幹事会において2011年度の事業計画および予算を決定しました。内容は左記の掲載資料（事業報告、決算書、事業計画、予算書）にてご確認ください。

みなさまにおかれましては、くれぐれも健康に留意され、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

2010年度 常磐大学同窓会事業報告

- 2010年度常磐大学同窓会総会、懇談会の開催
 - 開催日：2010年6月12日（土）
 - 場所：常磐大学日機大講堂
 - 出席者：52名（教職員7名含む）
 - 主な議案等：
 - 【報告】2009年度事業報告・決算報告、入会状況、役員選任
 - 【議案】2010年度事業計画・予算案審議
 - ※総会終了後、懇談会を日機大講堂にて開催
- 幹事会の開催
 - 実施時期および主な議案等：
 - 5月 2009年度事業報告、2009年度決算について 等
 - 11月 2011年度総会について、学生支援事業報告 等
 - 2月 学生支援事業について（常磐大学同窓会課外活動奨励金制度について）
 - （3月 東日本大震災のため開催できず、2011年度に持ち越した）
- 学生支援事業
 - 1) 学園祭への奨励金（2010年10月）
 - 2) 同窓会長賞および同窓会長賞記念品授与（品名：電子辞書、2011年3月）
 - 3) 同窓会長賞奨励金記念品授与（品名：高級ボールペン、2010年10月/2011年3月）
 - 4) 常磐大学同窓会課外活動奨励金制度を創設（2011年度から適用）
 - ※常磐大学同窓会課外活動奨励金制度は、同窓会長賞・同窓会長賞奨励金に代えて創設した制度である。
- 会員への大学情報の発信
 - 内容：会報「ときわの風」を発行し、会員へ送付
 - 時期：第11号（2010年7月23日発行）、第12号（2011年1月31日発行）
- 常磐大学同窓会ホームページの維持および管理
 - 内容：総会開催機種の掲載、異動情報受付 等
 - 時期：随時更新
- 卒業生の個人情報管理
 - 管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル 等
 - 時期：随時更新
- その他
 - 文部設立「国際学部ゼミナール委員会支部」（2011年3月）

2010年度 常磐大学同窓会決算書

収入の部		（単位：円）		備	考
項目	決算額	予算額	差異額		
会費収入	10,000,000	10,300,000	△ 300,000	新入会員 500名（新卒 499名+既卒1名）	
事業収入	90,500	140,000	△ 49,500	総会等参加費（45名）、託児室利用料	
雑収入	92,066	100,000	△ 7,934	預金利息等	
積立金等運用収入	580,000	580,000	0	積立金の運用に伴う利息	
小計	10,762,566	11,120,000	△ 357,434		
前年度繰越金	64,829,150	64,829,150	0		
繰越金	49,876,300	49,876,300	0	GEキャピタルコーポレーション社債	
小計	114,705,450	114,705,450	0		
合計	125,468,016	125,825,450	△ 357,434		

支出の部		（単位：円）		備	考
項目	決算額	予算額	差異額		
人件費支出	0	10,000	△ 10,000		
消耗品費支出	36,600	154,000	△ 117,400	印刷用紙、印刷機消耗品、総会関係等	
交通費支出	16,000	85,000	△ 69,000	幹事会出席者（学外幹事）等 交通費	
慶弔費支出	0	100,000	△ 100,000		
通信費支出	1,996,715	2,367,000	△ 370,285	総会案内、会報等 郵送料	
印刷費支出	668,291	767,000	△ 98,709	総会案内、会報等 印刷費	
会議費支出	123,799	223,000	△ 99,201	総会、幹事会等 会議費	
渉外費支出	6,000	20,000	△ 14,000	会報原稿執筆謝礼	
業務委託費支出	216,015	166,000	50,015	発送物袋詰作業等 委託費	
雑費支出	4,620	10,000	△ 5,380	振込手数料	
支援事業費支出	461,975	1,500,000	△ 1,038,025	学園祭奨励、同窓会長賞賞状・記念品等	
小計	3,530,015	5,402,000	△ 1,871,985		
次年度繰越金	72,061,701	70,547,150	1,514,551		
繰越金	49,876,300	49,876,300	0	GEキャピタルコーポレーション社債	
小計	121,938,001	120,423,450	1,514,551		
合計	125,468,016	125,825,450	△ 357,434		

2011年度 常磐大学同窓会予算書

収入の部		（単位：円）		備	考
項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額		
会費収入	9,620,000	10,300,000	△ 680,000	2010年度新入会員（新卒476名+既卒5名×20,000円）	
事業収入	0	140,000	△ 140,000		
雑収入	100,000	100,000	0	預金利息等	
積立金等運用収入	580,000	580,000	0		
小計	10,300,000	11,120,000	△ 820,000		
前年度繰越金	72,061,701	64,829,150	7,232,551		
繰越金	49,876,300	49,876,300	0	GEキャピタルコーポレーション社債	
小計	121,938,001	114,705,450	7,232,551		
合計	132,238,001	125,825,450	6,412,551		

支出の部		（単位：円）		備	考
項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額		
人件費支出	0	10,000	△ 10,000		
消耗品費支出	134,000	154,000	△ 20,000	印刷用紙、印刷機消耗品等	
交通費支出	75,000	85,000	△ 10,000	幹事会出席者幹事交通費等	
慶弔費支出	100,000	100,000	0	慶弔関係	
通信費支出	2,809,000	2,367,000	442,000	会報送付、卒業生状況調査等	
印刷費支出	689,000	767,000	△ 78,000	会報、封筒印刷等	
会議費支出	21,000	223,000	△ 202,000	幹事会等	
渉外費支出	20,000	20,000	0	会報原稿執筆謝礼、取材先土産等	
業務委託費支出	200,000	166,000	34,000	発送物袋詰作業等	
雑費支出	10,000	10,000	0	振込手数料等	
支援事業費支出	2,350,000	1,500,000	850,000	学生支援事業（新規：学生アポイント奨励金含む）、支部支援等	
寄附金支出	1,270,000	0	1,270,000	東日本大震災義援金（茨城新聞文化福祉事業団、大学）	
小計	7,678,000	5,402,000	2,276,000		
次年度繰越金	64,560,001	70,547,150	△ 5,987,149		
繰越金	60,000,000	49,876,300	10,123,700	GEキャピタルコーポレーション社債ほか	
小計	124,560,001	120,423,450	4,136,551		
合計	132,238,001	125,825,450	6,412,551		

2011年度 常磐大学同窓会事業計画

月	事業内容
4	
5	幹事会（前年度決算報告、前年度事業報告、当年度予算案承認、当年度事業計画承認）
6	
7	同窓会会報（第13号）発送 卒業生状況調査
8	
9	
10	幹事会 学生支援事業（学園祭奨励）
11	
12	
1	
2	同窓会会報（第14号）発送
3	幹事会（次年度予算案承認、次年度事業計画承認）

その他の事業

- 常磐大学同窓会課外活動奨励金制度（学生支援事業）
※2010年度臨時同窓会幹事会（2011年2月26日開催）にて承認された事業
- 東日本大震災被災者への義援金寄付
- 卒業生の個人情報管理等
- 常磐大学同窓会ホームページ維持・管理

常磐大学同窓会課外活動奨励金制度の創設

常磐大学同窓会では、同窓会および同窓会の活動に対する認知度および理解度の向上を目的として、常磐大学の学生のうち、学業成績優秀者、課外活動における顕著な成績を収めた者、社会活動で優れた評価を受けた者等に対して同窓会長賞を授与し、表彰および記念品の贈呈を行ってきました。

これを更に発展させ、現在の学生の動向にあった学生支援を行うべく、常磐大学同窓会課外活動奨励金制度を創設することが2011年2月26日の臨時幹事会にて承認されました。なお、本制度の構築により、同窓会長賞の目的は、より発展的な形で達成されることを考え、2010年度をもって同窓会長賞は廃止します。

【常磐大学同窓会課外活動奨励金制度 概要】

- 目的
常磐大学の発展および社会貢献に寄与できるまたはそれが期待できる学生の課外活動に対して、課外活動奨励金を給付することにより同窓会および同窓会の活動に対する認知度および理解度の向上を目指すことを目的とする。
- 奨励金の種類
奨励金は、学生プロジェクト奨励金およびスポーツ・文化活動奨励金の2種類とする。

- 学生プロジェクト奨励金
学生プロジェクト奨励金は、常磐大学教職員の推薦を受け、次の1から3までのいずれかに該当し、かつ、4および5のすべてに該当するものとする。

- 1 獨創性溢れるユニークな企画であること。
- 2 活動の結果が地域社会に還元され、社会貢献に寄与するまたはそれが期待できる活動であること。
- 3 奨励金を給付することにより、一定の成果が期待できること。
- 4 自ら発案し、実行できる自主的な活動であること。
- 5 定められた期間内に活動が完了し、成果の報告ができること。

- スポーツ・文化活動奨励金
スポーツ・文化活動奨励金は、常磐大学教職員の推薦を受け、次のいずれかに該当するものとする。但し、学生プロジェクト奨励金を給付されたものは除く。

- 1 スポーツ活動において、全国またはそれに準ずる大会において優秀な成績を収めた学生または団体
- 2 文化、芸術または学術活動において、全国またはそれに準ずる大会、コンクール等において優秀な成績を収めた学生または団体

- 3 ボランティア活動、社会活動等において、一定の評価を得た学生または団体

- 4 資格
常磐大学の学生または常磐大学の学生を主な構成員とする団体

- 5 奨励金額の上限および給付件数
①学生プロジェクト奨励金
1件当たり20万円を上限とし、当該年度5件以内とする。
- ②スポーツ・文化活動奨励金
1件当たり20万円を上限とし、当該年度5件以内とする。

- 6 申請
奨励金を受けようとする学生または団体は、常磐大学の所定窓口に定められた書類を提出する。

- 7 選考および給付額
選考および給付額は、常磐大学が指定する委員会の議を経て、同窓会会長が決定する。

- 8 結果報告
同窓会および常磐大学に活動結果報告書を提出し、活動内容およびその成果について、報告会を行わなければならない。

東日本大震災における常磐大学の被災状況について



常磐大学の入学式は、例年体育館を会場としていましたが、L棟学生食堂に変更して挙行されました。

2011年3月11日。常磐大学の水戸市は、震度6強の揺れに見舞われました。幸いなことに、常磐大学は春休み期



A棟：常磐短期大学開学時からシンボルであったA棟の時計塔は、ひび割れ等の被害が大きいため撤去されました。

間中あたり、キャンパス内にいた学生数は通常よりは少数でしたが、それでも数十名の学生がいました。教職員誘導によって、屋外に避難し、自力で帰宅できるものから順次帰宅しましたが、電車やバスなどの公共交通機関が不通になり、停電と断水の中、帰宅できずに大学内に教職員と共に宿泊した学生も数名いました。その後の安否確認で、在籍している学生・教職員全員の無事が確認できました。しかしながら、親族、家屋が被災した学生は少なくなく、常磐大学では授業料減免などの特別措置を講じ、家計急変学生への



D棟：各所の柱や梁にひび割れや損傷が数多く発生しました。現在復旧方法を検討中です。

の義援金募集も開始しました。学事日程の変更も余儀なくされ、3月20日に予定していた卒業式は、安全確保の観点から実施を見合わせました。また、入学式は当初予定より3週間遅れの4月25日に挙行し、授業開始は、5月2日までずれ込みました。校舎等の被害については、緊急度が



情報メディアセンター：書架から約31万冊の蔵書のほぼすべてが飛び出し、復旧には約1カ月を要しました。

高い箇所の補修作業は授業開始までに大部分を終えましたが、現在も工事が行われている箇所が残っています。

MESSAGE

常磐の春

2011年4月、森征一新学長が就任しましたので、メッセージをいただきました。

常磐の学生は、今、とても元気です。ここまで書いたとき、嬉しい知らせを受けました。6月27日に東京の紀伊國屋ホールで開かれた、全国12大学の代表による書評合戦「ビブリオバトル大学生大会」で、本学2年生の坂本和信君が紹介した本が、この日の一番読みたくなった「チャンプ本」に選ばれたというものでした。「ビブリオバトル」は、優れた読解力に裏打ちされた十分な内容の読み込みと、要点をまとめてそれを短時間で発表する能力が試される知的レベルの高い競技です。そこで本学の学生がチャンピオンに選ばれたこと

は、なにより喜ばしいことであるでしょう。

また、本学の学生有志が実力で日本財団から100万円もの活動資金を獲得し、東日本大震災被災者のための支援活動が本格的に開始されました。「常磐大学東日本復興支援プロジェクト」が立ち上げられ、石巻市のボランティアセンターと連携して、ボランティア隊が6月17日から19日に汚泥掻き出しなどの作業を行いました。今回は第1回目で、今後もこのプロジェクトは続きます。現地では、常磐大学の名前を入れたジャンパーを羽織った本学の学生が、他の団体よりも礼儀正しく振る舞っていたという情報もあり、学生主体のこのような活動を目的にして、実に頼もしい「今どきの若者」を感じました。



常磐大学・常磐短期大学学長(常磐大学同窓会名誉会長)

森 征一 先生

専門：西洋法制史(中世ローマ法)
慶應義塾大学法学部卒。
同大学大学院法学研究科修士課程修了。
一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。
慶應義塾大学助手、専任講師、助教授、教授を経て、
2001年同大学法学部長・大学院法学研究科委員長。
2005年慶應義塾常任理事。
2005年まで法文化学会理事長を務める。
2010年学校法人常磐大学常任理事。
2011年4月より現職。

このほか、水戸ホーリーホックとのコラボなど、本学の学生の最近の活躍はめざましいものがあります。

「同窓会」は卒業生が世代を越えて集い、交流を通じて叡智を生み出す場といえますが、そのような場が輝き続けるのは、現在、母校で学んでいる学生たちのこのような活躍があつてこそでしょう。その学生たちを、社会にある者の立場から、温かい、ときには厳しい眼差しで見守りながら、必要な

時に手を差し伸べるのが卒業生たちで、「同窓会」としては、母校を輝かせ続ける両輪なのです。

母校を懐かしむだけでなく、行事などへの参加を通じて、今ある母校と積極的な関わりをもつて、これを発展させていくための同窓会であつてほしいと、私は願っています。



東日本大震災の義援金について

2011年5月14日同窓会幹事会において、今年度の同窓会総会の開催見合わせとともに、東日本大震災による被災者への義援金について、話し合われました。協議の結果、在学中の被災学生の特別措置(授業料と施設設備費の減免)に対する義援金として、100万円を寄付する予定です。また、一般の被災者に対する

義援金を連合同窓会(大学院、大学、短期大学、高等学校の連名)として、5月19日に茨城新聞文化福祉事業団を通じて60万円寄付しました(うち27万円が本同窓会拠出額です。2011年5月25日茨城新聞朝刊19面において紹介されました(以下写真))。



同窓会支部設立(国際ゼミナール委員会)について

2011年5月14日同窓会幹事会において、国際学部ゼミナール委員会OB・OGによる「国際学部ゼミナール委員会支部」の設立が承認されました。(設立時構成員32名。2010年の「TOKIWAおんぶの会」支部に続き第二号の設立となります。国際学部ゼミナール委員会支部は、会員相互の親睦を図る

2010年度同窓会長賞受賞者について

- 国際学部 心理教育学科 細谷祥子さん
- 国際学部 国際関係学科 佐伯友里恵さん
- 国際学部 国際関係学科 佐伯友里恵さん
- 国際学部 現代社会学科 宮内大和さん
- コミュニケーション振興学部 ヒューマンサービス学科 大和田裕香さん
- 財団法人吉日本行連盟による昇段審査 5段認許 人間科学部

ご結婚された方

- 菊池 哲さん 人間科学部17期
- 松本 美佳さん(旧姓富田) 人間科学部18期
- 松永 旭洋さん 人間科学部21期
- 松永 由香さん(旧姓江橋) 人間科学部21期
- 苅草 真希子さん(旧姓井坂) 「コミュニケーション振興学部」1期

常磐大学同窓会館利用のご案内

「常磐大学同窓会館」は、各種同窓会のほか卒業生の諸活動に、無料で利用することができ(一般の方は有料)ます。

- 利用施設(収容人数)
- 楓ホール(100名・会議場(50名)
- 応接室(10名・駐車場(30台程度))



■利用時間 月～土曜9:00～21:00 (休館：日曜及び祝日)

■お申込み 事前予約が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.tokiwa.ac.jp/aec/ 常磐大学卒業生センター 029-1231-18162

* 編集後記 *

3月11日に発生した東日本大震災に被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。常磐大学においても記事のとおり、建物等に被害がありました。震災当日は春休み中だったため、在学生をはじめ教職員に安否確認をしたところ全員と連絡が取れたので、安堵しました。当同窓会では、5月14日の幹事会において今

回の震災への支援を決定し、東日本義援金として寄付することを決めました。被災地の復興に、微力ながらもその一助となればと思っております。終息のみなない原発事故の影響や、回数は減りましたが余震があるたびに心配になりますが、一日も早い生活の被災地の人々の再建を祈念しております。